

令和3年度天皇誕生日レセプションにおける主催者挨拶
(2022年3月23日 磯俣秋男在アラブ首長国連邦日本国大使)

[和文大意：実際のスピーチは英語で行われました→[原文（英文）へのリンク](#)]

皆様、本日は天皇誕生日レセプションにご出席を賜り、感謝申し上げます。このレセプションを約2年ぶりに開催できることを大変うれしく思います。また、今年は日本とアラブ首長国連邦（UAE）の外交関係樹立50周年という記念すべき年であり、今回のレセプションの開催を一層喜ばしく存じます。

【ウクライナ情勢】

このレセプションを開催しつつも、現下のウクライナを巡る危機に思いを寄せると、悲しみで心が引き裂かれます。我々の思いはウクライナの人々と共にあります。このような事態が一刻たりとも続くことは全く受け入れ難く、我々はこの危機を直ちに終わらせるべきです。

【半世紀以上にわたる日UAE関係】

日本とアブダビ首長国の関係は、UAEの建国以前から始まっており、両国の関係は半世紀にわたる協力を経て、今や石油とガスを越えて様々な分野に発展しています。50周年を迎えた現在、「次の50年」を見据えて新たな協力のフロントを果敢に切り開いていきたいと思います。そして、将来に向かっての協力の重要な柱として、人材育成とイノベーションがあると考えます。

【人材育成】

人材育成に係る協力については、UAEの人々の日本の大学・大学院への留学や、日本の企業での研修・インターンもありますが、より深い協力の事例を一つ紹介したいと思います。アブダビ日本人学校を舞台にした協力です。同校では、ムハンマド・アブダビ皇太子の要請を受けて、約15年前からエミラティの子供を受け入れています。これらの子供達は、日本式の道德教育を含め日本のカリキュラムに沿って、幼稚園から中学校までアブダビ日本人学校で学び、その後は日本の高校に進学し、更に日本の大学に進みます。

文化や習慣の違いから様々な困難もありますが、両国の多くの人たちの支

えで継続されている意義深い教育交流です。幼稚園から開始した最初のエミラティの子供たちは、今や日本の大学に進学しています。彼らは日本人と同じように日本語を話し、日本文化を理解し、各々の専攻分野で研鑽を積む有為な人材で、まさに将来の両国の「架け橋」となる人材です。こうした若者が、UAEの他の若者にも良い刺激となり、また多くの日本の若者にもUAEへの関心を喚起する良き機会を提供し、両国国民間の交流や将来の両国関係の発展の推進力となることを期待しています。

【イノベーション～宇宙、脱炭素など～】

イノベーションに係る協力は、様々な分野のものがありますが、日本の企業の技術をどういう形でUAEのリソースと結びつけていくかが鍵です。例えば、宇宙の分野では、日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）がH2ロケットを使って、2018年にUAEの地球観測衛星「ハリファサット」の打上げ、2020年にUAEの火星探査機「ホープ」の打上げを成功させました。現在日本のスタートアップ企業がUAEの月探査機の月面への到達を支援する協力事業を進めており、今年中の打上げを目指しています。他の分野でも、日本のスタートアップ企業とUAEのカウンターパートとの協力事業が検討されていますが、こうした協力が、事業に参加するUAEの若者の人材育成にも寄与し、またUAEの若者が民間セクターで活躍することへの関心を喚起することにもつながることを期待しています。

UAEが急速な発展を遂げる中で、日本が緊密に協力していける分野も、再生可能エネルギー、先端ロボット技術、人工知能、ヘルスケア・医療設備、バイオ技術など益々広がっています。脱炭素も、また重要な協力分野であり、例えば、ブルーアンモニアの生産や水素のグローバル・バリューチェーン設立に関する協力の検討も行われています。UAEはこの地域で最初に2050年カーボンニュートラルを宣言し、来年にはCOP23を主催します。日本は、その持てる技術力を活かして、脱炭素でも息の長い協力をUAEと進めていきたいと考えています。

【万博】

最後に万博について一言触れたいと思います。冒頭で、日本とアブダビの関係はUAEの建国以前から続いていると述べましたが、万博においても然りです。アジアで最初の万博となった1970年の大阪万博には、UAE建国前のアブダビ首長国が参加しました。それから50年経った現在、中東で、またムスリム諸国で最初の万博となったドバイ万博がUAEで開催されて

います。そして次の万博は、ご存じのとおり、2025年の大阪・関西万博です。万博は、世界の人々に将来への夢と希望を与える場です。日本とUAEとの間に、こうした分野でも深いかかわりがあることに、歴史的な縁を感じます。ドバイ万博のテーマは「心をつなぎ、未来を創る」(Connecting Minds, Creating the Future)、大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」(Designing Future Society for Our Lives)です。日本、UAE、そして多くの国の人々の心は、ドバイ万博を通じて大阪・関西万博に向けてつながってきており、共に未来をデザインし、創っていく準備はできています。「次の50年」に向けて、皆で手を携えて協力していきたいと思います。

本日のレセプションへの出席に改めて感謝申し上げます。ご静聴ありがとうございました。